

# 千葉日報に掲載されました。

千葉日報 (朝刊)

2010年(平成22年)11月14日(日曜日)

## ガンマナイフ治療導入 転移性脳腫瘍に効果

船橋のセコメディック病院

腫瘍に対して大きな効果を発揮し、脳血管奇形や三叉神経痛などの治療にも適応しているという。ただし、3・5センチ以上の大きな病変には適さない。

県内では市原市の県循環器病センターで治療装置が導入されている。2台目となるセコメディック病院では、約5億円で最新機種を購入したという。

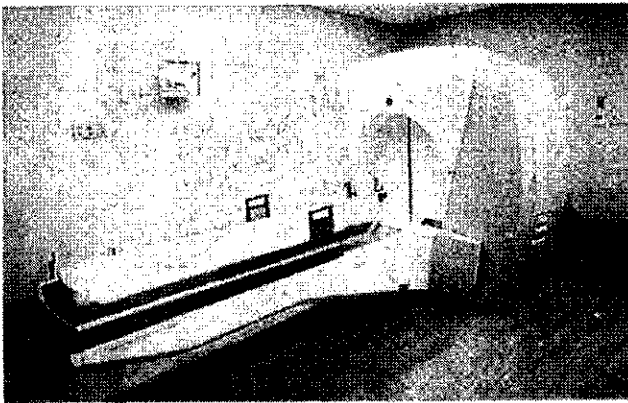
同病院ガンマナイフセンター長は堀田二郎医師で、2001年から野猿峠脳神経外科病院(東京都八王子市)でガンマナイフ治療に従事し、3千例以上の治療経験を持つ。

同センターでは年間200件の治療を見込んでおり、すでに予約が入っているという。保険適用対象。問い合わせは同センター☎047(457)9905。

船橋市豊富町のセコメディック病院(景山雄介院長、292床)は15日、転移性脳腫瘍(しゅよう)などに効果の高いガンマナイフ治療を専門的に行う「千葉ガンマナイフセンター」を開設する。同治療装置の導入は県内2台目だという。

同病院によると、ガンマナイフは開頭手術不要の脳外科治療で、コバルト60放射線源を病巣部のみ集中照射する。従来の手術では到達困難だった脳深部の病変や危険部位の治療が可能で、患者の負担が少なく、放射線の副作用も最小限に抑えられるという。

特にがん患者の転移性脳



15日にオープンする千葉ガンマナイフセンター。船橋市豊富町のセコメディック病院